



沖縄県立沖縄工業高等学校
3つの方針(School Policy)

校訓 「誠実・勤勉・忍耐」

スクールミッション (存在意義・社会的役割)

- ◇ 校訓「誠実・勤勉・忍耐」を基本に、豊かな人間性を育成し、主体的な学びを通し自己の夢を実現できる生徒の育成
- ◇ 歴史と伝統を継承し、地域からの信頼を築き、新しい時代へ向けて実践的な技術・知識を習得させ、産業界の技術革新に対応できる生徒の育成

学校の教育方針 (スクール・ポリシー)

(1) アドミッション・ポリシー (生徒募集方針)

なりたい君から、なれる自分へと変わる、

「夢」から「実現」へ

のコンセプトを実現に向け、取り組む強い意思を持つ生徒

1. 人権尊重の精神を持ち、入学後も明確な目的意識のもと、仲間と協働しながら、粘り強く継続的に学習に取り組むことのできる生徒
2. ものづくり、資格取得、部活動、特別活動等に積極的に取り組む生徒
3. 高度な知識・技術を身につけ、専門分野の就職・進学を積極的に目指し、専門分野を活かして社会で活躍したいという意欲のある生徒

学校の教育方針 (スクール・ポリシー)

(2) カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- ① 普通教科と専門教科が連携し、座学と実習科目が融合した学び
- ② 産業界・地域社会・教育センター等と連携し、地域資源を活かした課題解決学習
- ③ 特別活動を充実させ、キャリア教育を重視し、主体的に学び、あり方、生き方を考え、自己理解・自己啓発・自己実現できる教育を推進する
- ④ 日頃の学習、資格取得、ものづくり、部活動の両立を強力に支援する



沖縄県立沖縄工業高等学校 3つの方針(School Policy)

電子機械科

「機械」、「電気・電子」、「制御」の三本柱を軸に、メカトロニクス技術を総合的に習得し、将来の産業界に柔軟に対応できるスキルを身につけるためのカリキュラムを編成する。

情報電子科

ICT 社会に対応するために、基礎的な情報技術・ネットワーク技術・電気制御技術を学び、情報技術者、ネットワーク技術者、電気技術者を育成する。特に第二級陸上特殊無線技士及び第二級海上特殊無線技士の長期型養成課程の認定を受ける。

建築科

建築技術者、建築設計技術者を育成するために、主要科目「製図」「実習」で基礎的な知識・技術を学ぶ。また、建築施工管理技術者、建築士の育成に対応する科目を設置する。

土木科

土木技術者を育成するために、主要科目である「測量」「土木施工」の基礎・基本を体系的に学ぶ。また、実践的な能力の育成を図るためのカリキュラムを編成し、土木に興味関心を持たせ、系統立てて学習させ、進路決定に繋げる。

工業化学科

- ① 毒物・劇物取扱者の資格が取得できるカリキュラム編成を行い、化学技術者として環境保全や毒物・劇物取扱に関係した基礎的な知識や技術について学ぶ。
- ② 環境教育の充実を図るため「地球環境化学」を中心に関係法令に基づいた基礎的な環境分析技術と調査方法について学ぶ。

生活情報科

- ① 家庭生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を学び、地域産業や社会に貢献できるスキルを身につける。
- ② 2年次からのコース制により食物・保育に関する専門的な知識と技術を学ぶ。
食物コース：食生活や栄養・食文化に関する基礎的な知識を学び、基礎的な調理実習を通して家庭科食物調理技術1級に合格できる技術を学ぶ。
保育コース：保育を担う職業人として、保育の意義、子どもの発達の特徴、子どもを取り巻く環境などを学習し、交流学习等の実践的な学習を行う。また、絵本の読み聞かせや造形作品製作といった子どもの表現活動等、家庭保育技術検定に合格できる技術を学ぶ。



沖縄県立沖縄工業高等学校
3つの方針(School Policy)

学校の教育方針 (スクール・ポリシー)

(3) グラディエーション・ポリシー (卒業までに身につける力)

- ① 進路を主体的に選択できる態度と能力を身につける。
- ② すべての活動で最後までやり抜く実践力と態度、創造性、高い志を育む。
- ③ 倫理観を持ち、人間尊重の考えを礎とした心身共に健全で心豊かな人間力を育成する。
- ④ グローカル、SDG s の視点を持ち、社会の変化や科学技術の進歩に、主体的に柔軟に対応し各分野のスペシャリストとして地域社会の発展に貢献しようとする態度や意欲を育む。
- ⑤ 4 s (整理・整頓・清掃・清潔)活動が出来る人間力〔気づきのある人間力〕を身につける。
- ⑥ 安全作業、KY (危険予知) 能力と技術力・判断力を身につける。